



広げよう「友好と奉仕」の輪

会長 西井 勝明

人類に奉仕するロータリー

本日は 第3015回 例会
プログラム
あこすてハーモニー
No.2827 1月26日(木)

次週以降の予定
2月2日(木)東日本大震災の教訓
2月9日(木)市民後見人制度について
2月16日(木)追悼例会

第3014回 例会報告

2017年 1月19日(木)

副会長挨拶・報告



本日留萌RCより3名の方々がお見えになっています。留萌RCは私が地区に出向していた時も、奉仕活動に非常に熱心という印象でした。今新入会員についての回覧がFAXされていると思いますが、理事会では承認しておりますので、1週間以内に異議がなければ自動承認となります。西井会長の後任の空知自動車学園の社長さんです。

幹事報告



①. 赤平RCより会報が届いています。ガバナー月信1月号を購読者の方々のロッカーに入れてあります。
②. 当クラブは、米山記念奨学会より第32回目米山功労クラブとして、感謝状を頂きました。

中垣会員より葬儀のお礼



先月下旬の家内の母の葬儀におきまして、皆さんには色々とお世話になりました。お礼として、クラブ基金の方へ些少ですが寄付したいと思います。本当にありがとうございました。

伝達式

米山記念奨学会より表彰
神部 洋史 会員
(第13回米山功労者 メジャードナー)
篠島 弘 会員
(第8回米山功労者 マルチプル)
奥山かおる 会員
(第1回米山功労者)



【ロータリー財団委員会担当例会】
ーゲスト卓話ー



ロータリー財団委員会

畠山 かおる 委員長

今日は留萌RCの3名様をお招きして、留萌RCの事業紹介ということでお話を頂きます。

財団委員長となり、ロータリーの財団補助金プログラムの申請の任に当たったわけですが、私ども滝川RCでは長年そらぶちキッズキャンプに何らかの支援をさせて頂いておりますが、その支援をするための一部としてロータリー財団の補助金の助成を頂きました。他のクラブさんは一体補助金プログラムを使ってどんな事業をしているのだろうかということに興味をわきまして、留萌RCさんをお願い致しました。

「留萌ロータリークラブの事業紹介」



留萌RC 社会奉仕委員長

鈴木 康伸 様

私ども留萌RCは、旭川西RCをスポンサークラブとして昭和36年2月に設立されたクラブで今年56年目を迎えております。会員数は最大117名まで増えましたが、現在38名と会員数減少に苦しんでいるクラブの一つです。

留萌RCの社会奉仕委員会の予算は、小さいクラブながら80万円あります。しかし、その内60万円が留萌市の夏祭りどんとう祭りの行燈の山車に持って行かれます。これは、市内を練り歩く行燈行列に参加しているからで、地域活性化事業として行っております。残りの20万円のうち10万円が、留萌特別支援教育研究連盟南部ブロックに対して子供たち宿泊キャンプ代として寄付をし、残りの10万円が今回の補助金事業の予算となっております。

それでは補助金事業についてお話をさせて頂きます。我々のような小さなクラブでは予算に限りがありますので、この補助金事業は大変有効に使わせていただいております。3年前にはキバナコスモスを、夏に多くの海水浴客が訪れる留萌市海水浴場の道路わきに植樹しました。昨年度はポエムファンタジーと銘打ち、子供たちに日本文化の詩吟に触れてもらう機会を提供しました。

そして今年度は、これからご紹介する会員参加型の事業を開催致しました。昨年度留萌RCが55周年事業としてゲーム機ウィーとゲームソフトを留萌市の幼児療育通園センターに

贈り、子供たちに喜ばれたのがきっかけで、発育、発達障害を持つ子供たちが通う通園センターで子どもたちとその親との交流を通じて留萌の現状を会員にも知ってもらうのが目的で開催しました。今回の事業は12月の第2例会として開催し、社会奉仕委員会がプログラムを担当した地区補助金事業です。留萌RCの例会が毎週水曜日ですので、時間を変更して対応しました。午後3時30分から4時30分までの通常例会の1時間で、出席人数は通園センターに通う児童23名、その兄弟10名、父母15名、センター職員12名、クラブ会員20名が参加しました。例会プログラムに用意したのはケーキ作り講習会で、子供たちと一緒にケーキ作りをしました。会員企業にケーキ屋さんがありまして、丁度12月ですのでクリスマスケーキとして作りました。通園センターに通う児童とその兄弟、及び父母とのケーキ作りを通して、子供たちの嬉しがる笑顔を見ることができ、何よりでした。ケーキ作りの後は、クリスマスプレゼントとして、通園センターの学習会で使用する電子オルガンとカスタネット、笛などの楽器を贈り、参加者全員で赤鼻のトナカイを合唱しました。今回の事業で協力頂いたのが、通園センターの父母会であるおやじの会で、このおやじの会に電子オルガンの維持管理もお願いしております。事業予算は30万円弱で、その内補助金16万円弱、委員会予算10万円、そしてクラブ昼食の粗食例会を2回開催して捻出した予算を投入して、無事終了しました。

私自身子育てもほとんど終わりましたが、健常者の子どもでさえ子育てが大変なのに、通園センターのお母さん方はすごいなあと感じました。これらの子どもたちも皆私たちの街の子どもです。みんなで見守っていかねければと考えさせられた事業となりました。



留萌RC 会長エレクト

クラブ奉仕委員長 森 幹雄 様

私は、貴クラブの故西井勝明会長とは、弓道を通して親しくお付き合いを頂いておりました。昨年訃報をお聞きしたときは、残念の思いが強く心に残りました。故人との思い出の一つに、弓道段別選手権という大会が思い出されます。それぞれの段ごとの優勝者を決める大会でございます。決勝戦で西井さんと私が直接対戦したことがありました。結果は一回では決まらず、二回、三回と四回目の対戦で優勝者が決まりました。「あの時は面白かったですね。」と、後日二人で話をしておりました。その時の優勝者は、西井練士六段でありました。ご冥福をお祈り申し上げます。

私は、2014年の社会奉仕委員会の委員長でしたので、補助金申請の経緯を含めてお話を

させていただきます。前年の11月末に、次年度理事役員が指名され、12月に次年度の委員会構成が発表されます。1月から担当委員会が始動致しますが、クラブの事業計画の作成と並行して、地区補助金事業の企画をねん出することになります。補助金申請書は3月末日までに提出ですので時間との競争になります。ガバナー事務所と財団委員長の助言やご指導を頂きながら提出致しました。財団から地区へ、地区からクラブへの補助金交付の流れと私たちの事業開始との間にはタイムラグがありましたので、斉藤地区補助金委員長にお伺い致しますと「金額は未定だが、補助金の配布対象になります。」と返答を頂き、予定通り5月に土を耕し6月に種まきを行うことができました。

プロジェクト名は、「キバナコスモスと海プロジェクト」と致しました。ゴールデンビーチ海水浴場前に250メートルの花壇がありますが、雑草に覆われていましたので市から花壇を借り受け、塩害や風に強いキバナコスモスを植えました。土を耕し、種植え、雑草取り、刈取り、後始末等々、ロータリークラブの会員と家族と市民のお手伝いを頂き育った花は、海岸沿いをオレンジ色に染め、訪れる市民や海水浴客が植樹帯のキバナコスモスと共に海や山を背景に写真を撮るなど地域のPRに役立てることができました。



留萌RC(森会長エレクト・鈴木社会奉仕委員長・櫛井親睦副委員長)

本日は、お招きいただき有難うございます。

神部 洋史会員

家族に嬉しい事がありました。

篠島 弘会員

米山功労者第8回マルチプルの感謝状を頂いて。あわせて結婚記念日のお祝いもいただき、有難うございました。

熊谷美由紀会員

お誕生祝を頂いて。

畠山かおる会員

担当例会を終えて。留萌RCの皆様、有難うございました。

会長／西井 勝明
幹事／坂本 和繁
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL(0125)22-3344

FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。